愛美新聞

第61号

H24.3月

発行人→医療法人社団
すんとおる

沼津市高沢町6-1
TEL→055-922-8855
→http://www.sunto-seikei.jp

みなさんこんにちは。あっという間に3月ですね。花粉症の方には辛い季節になりました。薬を飲んだりマスクをするなど対策を万全にしましょう。。

さて今月はデイケアの川村さんがひなまつりについてお話ししてくれます。どうぞー!!

ひなまつり

デイケア 川村

上巳の節句は、1日間3月上旬の巳(み)の日(3月3日)の行事のことで桃の節句ともいわれるように桃の花が咲く頃行われる行事です。起源は300年頃の古代中国で起った上巳節にさかのぼります。季節の節目の邪気はらい行事として、老若男女を問わず皆の幸福を願う行事でした。上巳節を遣唐使が日本に伝えたといわれております。

日本でも古くからみそぎ思想が半代(かたしろ)という身代わり信仰があり、それう上巳節と結びつき日本油来の文化として定着しました。

ひな祭はひな人形を飾り、親族や親しい友人などを招いて、女の子の成長を祝う行事です。

ひな祭のごちそうは、草餅、菱餅、ひなあられ、蛤の吸物、白酒などがありますが これらは邪気をはらったり 娘の健かな成長を願う気持ちが込められたり、蛤には夫婦和合の願いが込められた 白酒に桃の花弁を浮かせた桃花酒も飲まれておりました。

ひな人形の片付けは3月3日の翌日には済ませるようにします。片付けが遅れると娘が縁遠くなるという俗信があり、また古くなったおひな様は捨てずに、焼いて供養するのが一般的な習わしです。

ひな人形の飾り方

1段目：内裏びなの飾り方は、関東と関西では反対です。関東は左が男で右が女、中央に対の徳利。

2段目：三人官女

3段目：五人囃子
左から太鼓・大鼓
小鼓・笛 謡(うたい)

4段目：随身。右が左大臣
左が右大臣

5段目：仕丁(しちょう)、傘踏台 台をもつ仕丁がいて、笑い顔目 泣きの表情をしている。

6段目：
7段目：
ひな道具